

3- 1 日本史

研究・教育活動の概要と特色

日本史専攻分野は、法文学部創設の翌年に設置された 88 年の伝統をもつ研究室で、これまで国内において日本史の研究・教育の拠点的作用を果たしてきた。研究・教育活動の概要・特色は次の通りである。(1) 広い視野に立ち総合的であるとともに、史料に基づいた厳密な実証的日本史研究をめざしている。(2) 教員を中心とする研究は、古代史では天皇と寺院・僧侶集団の研究、中世史では国家周縁地域の比較研究、近世史では家と村、そこを場とした生活・思想・文化の研究、史料学、近現代史では政治・経済・外交を結びつけ国際的視野からの研究に取り組み、満州事変以後の戦時動員体制、東南アジアへの経済進出の研究などを進めている。(3) 教育では、基本的に学生の内発的な問題意識を重視し、古代から近現代までの各時代の政治・経済・社会・文化・生活などの各分野の研究が自由にできるように指導している。学部教育では、自ら史料を分析して課題にアプローチし、自分の考えを論理的に表現できる能力の養成によって、専門的研究の基礎能力を培うとともに、一般的職業人としての能力を養う。大学院教育では専門的研究者を育成する。(4) 学部・大学院を通して史料の調査・整理法を修得させアーキビストとして能力を育成する。

組織

1 教員数(2011年9月末現在)

教授：2

准教授：2

講師：0

助教：1

教授：大藤修、柳原敏昭

准教授：安達宏昭、堀裕

助教：風間亜紀子

2 在学生数（2011年9月末現在）

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
53	0	10	12	0

3 修了生・卒業生数（2007～2011年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
07	17	7	3
08	16	6	5
09	9	7	4
10	11	4	1
11	0	0	1
計	53	24	14

* 2011年度は、9月末までの数字

過去5年間の組織としての研究・教育活動（2007～2011年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
07	3	2	5
08	4	0	4
09	2	3	5
10	4	1	5
11	3	0	3
計	16	6	22

* 2011年度は、9月末までの数字

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

渡邊 俊、2007年度、『日本中世の刑罰と社会の研究』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・熊本崇、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

片岡耕平、2007年度、『日本中世の秩序意識 穢を分析概念として』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・佐藤弘夫、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

栗原伸一郎、2007年度、『「奥羽越」列藩同盟の形成過程に関する研究』

審査委員：教授・大藤修(主査)、教授・今泉隆雄、教授・佐藤勝則、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

寺崎保広、2007年度、『古代日本の都城と木簡』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・阿子島香

岡田清一、2007年度、『鎌倉幕府と東国』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・佐藤弘夫、准教授・柳原敏昭

中野 良、2008年度、『日本陸軍の軍事演習と地域社会 「軍 地域関係史」の一試論』

審査委員：教授・大藤修(主査)、教授・今泉隆雄、教授・佐藤勝則、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

高橋陽一、2008年度、『近世の旅と地域社会・権力に関する研究』

審査委員：教授・大藤修(主査)、教授・今泉隆雄、教授・佐藤弘夫、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

鈴木琢郎、2008年度、『古代大臣制の研究』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・川合安、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

風間亜紀子、2008年度、『日本古代国家と寺院造営』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・長岡龍作、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

柳原敏昭、2009年度、『日本中世国家周縁地域史の研究』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・佐藤弘夫

張 基善、2009年度、『日本近世・近代の社会と医師』

審査委員：教授・大藤修(主査)、教授・今泉隆雄、教授・佐藤嘉倫、准教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭

鹿内浩胤、2009年度、『日本古代典籍史料の研究』

審査委員：教授・今泉隆雄(主査)、教授・大藤修、教授・佐藤弘夫

樋口知志、2009年度、『前九年・後三年合戦と奥州藤原氏』

審査委員：教授・今泉隆雄（主査）、教授・大藤修、教授・阿小島香
橋本今祐、2009年度、『明治国家の芸能政策と地域社会』

審査委員：教授・大藤修（主査）、教授・今泉隆雄、教授・鈴木岩弓、准教授・
柳原敏昭、准教授・安達宏昭

小野沢真、2010年度、『中世時衆史の研究』

審査委員：教授・柳原敏昭（主査）、教授・大藤修、教授・佐藤弘夫、准教授・
安達宏昭、准教授・堀裕

山本悠三 2010年度、『近代日本の思想善導と国民統合』

審査委員：教授・大藤修（主査）、教授・佐藤弘夫、准教授・安達宏昭

中島耕二、2010年度、『日本近代化と宣教師 明治期の政治外交と宣教師W・イ
ンブリー 』

審査委員：教授・大藤修（主査）、教授・柳原敏昭、教授・佐藤勝則、准教授・
安達宏昭、准教授・堀裕

徳竹 剛、2010年度、『近代日本形成期の地域振興』

審査委員：教授・大藤修（主査）、教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭、准教
授・堀裕、准教授・永井彰、

手嶋泰伸、2010年度、『戦時期における日本海軍の政治史的研究』

審査委員：教授・大藤修（主査）、教授・柳原敏昭、教授・佐藤勝則、准教授・
安達宏昭、准教授・堀裕

天野真志、2011年度、幕末維新时期における国事周旋活動の研究

審査委員：教授・大藤修（主査）、教授・柳原敏昭、准教授・安達宏昭、准教
授・堀裕、准教授・片岡龍

松崎瑠美、2011年度、近世武家社会のジェンダー・システムと女性の役割

審査委員：教授・大藤修（主査）、教授・柳原敏昭、教授・沼崎一郎、准教授・
安達宏昭、准教授・堀裕、

遠藤みどり、2011年度、日本古代の女帝と譲位

審査委員：教授・柳原敏昭（主査）、教授・大藤修、教授・川合安、准教授・
安達宏昭、准教授・堀裕

2 大学院生等による論文等発表

2-1 論文等数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
07	17	9	4	9	39
08	14	7	2	1	24
09	20	5	2	2	29
10	7	12	3	2	24
11	3	4	4	1	12
計	61	37	15	15	128

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
07	0	15	8	3	26
08	1	8	11	5	25
09	1	6	5	2	14
10	0	8	11	1	20
11	1	4	2	0	7
計	3	41	37	11	92

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文・書評・史料紹介等

相澤秀太郎他「細井計編『東北史を読み直す』」、共著、『歴史』第108輯、p103
~p105、2007年

相澤秀太郎「第78次調査の漆紙文書」、『宮城県多賀城跡調査研究所年報2007』、
p52~p61、2008年3月、(吉野武氏と連名)

相澤秀太郎「宮城歴史科学研究会 第11回歴史学入門講座参加記」、『宮城歴史
科学研究』第66号、2009年3月

相澤秀太郎「養老令制下における課役の概念についての試論—嘉祥四年正月十六日
太政官符を手がかりとして—」、『川内古代史論集』第7号、pp.35-46、2010
年

- 相澤裕介「紹介 吉田勲著『古代の都はどうつくられたか』」、『国史談話会雑誌』
第 52 号、2011 年 11 月公表予定
- 天野真志「文久・元治期における秋田藩の情報政策 京都・江戸との関わりから」、
『東北文化研究室紀要』第 48 号、pp45-61、2007 年
- 天野真志『原町市史 5 近世 資料編』、南相馬市、第 9 章「幕末・維新」分担、
pp.648-798、2007 年
- 天野真志「書評：藤田覚著『近世後期政治史と対外関係』」、『歴史』第 109 輯掲
載予定、2007 年
- 天野真志「禁門の変と秋田藩 内乱回避をめぐる諸藩周旋活動の一側面」、『文
化』72-1・2、2008 年
- 天野真志「幕末平田国学と秋田藩—文久期における平田延太郎（延胤）の活動を中
心に—」、『東北文化研究室紀要』第 50 集、2009 年
- 天野真志「禁門の変と秋田藩—内乱会費をめぐる諸藩周旋活動の一側面—」、『文
化』第 72 巻第 1・2 号、1-18 頁、2008 年
- 石川光年「紹介 入間田宣夫著『平泉藤原氏と南奥武士団の成立』」、『国史談話
会雑誌』48、65～67 頁、2007 年 11 月
- 遠藤みどり「7、8 世紀皇位継承における譲位の意義」、『ヒストリア』第 209 号、
2008 年
- 遠藤みどり「日中譲位考—君主位継承における皇太子の位置づけをめぐる—」、
『歴史』第 113 輯、1-17 頁、2009 年
- 遠藤みどり「持統譲位記事における「定策禁中」について」『川内古代史論集』
第 7 号、pp.17-23、2010 年
- 遠藤みどり「令制キサキ制度の展開」、『続日本紀研究』第 387 号、pp.1-19
2010 年
- 遠藤みどり「令制キサキ制度の成立 妃・夫人・嬪の序列をめぐる」、『日本
歴史』第 754 号、pp.1-18、2011 年
- 大内正臣「陸上・水上交通」、『史学雑誌』2008 年度回顧と展望」第 118 編第 5
号、123-124 頁、2009 年
- 小佐野浅子「石岡城（外城）の成立とその軍事的位置」『常総の歴史』第 35 号、
43 頁～51 頁、2007 年（2005 年発表論文の転載）
- 小佐野浅子「武田勝頼年表」、柴辻俊六・平山優編『武田勝頼のすべて』、新人物
往来社、249 頁～259 頁、2007 年

- 小佐野浅子「武田領国の土豪層と地域社会」、平山優・丸島和洋編『戦国大名武田氏の権力と支配』、325-363頁、岩田書院、2008年
- 小佐野浅子「二 八年の歴史学界 回顧と展望 日本(中世)七」、『史学雑誌』118-5、87-89頁、2009年
- 小佐野浅子「甲斐国都留郡小林氏の系譜と本拠」、『日本歴史』第748号 pp.18-37、2010年
- 小佐野浅子「山形大学附属博物館寄託「秋山家文書」 戦国期武田氏関連文書の紹介」、柴辻俊六編『戦国大名武田氏の役と家臣』岩田書院、2011年11月刊行予定
- 小野澤 眞「中世都城における聖の展開—東山・霊山時衆と京都におけるその意義—」五味文彦・菊地大樹編『中世の寺院と都市・権力』山川出版社、2007年
- 小野澤 眞「【研究ノート】「時衆」再考—林讓氏の近論を承けて—」『寺社と民衆』4号、民衆宗教史研究会、pp18-37、2007年
- 小野澤 眞「【巻頭口絵・解説】埼玉県川口市所在名号板碑断片」『寺社と民衆』5特別号、民衆宗教史研究会、pp01-03、2009年3月
- 小幡圭祐「明治初年大蔵省勸農政策の展開過程」、『歴史』第115輯、2010年
- 小幡圭祐・吉葉恭行「東京帝国大学大学院特別研究生候補者の研究事項解説書 昭和十八年度～昭和二十年度」、『東京大学史紀要』、第29号、pp.17-66、2011年
- 小幡圭祐「明治初年井上馨と大蔵省勸農政策」、『日本歴史』第753号、pp.42-59、2011年
- 片岡耕平「永長の大田楽の動向 日本中世天皇の権威についての一考察」、『ヒストリア』第206号、2007年
- 片岡耕平「「神国」の形成」、永井隆之・片岡耕平・渡邊俊共編『日本中世のNATION 統合の契機とその構造』岩田書院、2007年
- 片岡耕平「日本中世成立期における触穢観の変容と社会関係」、『史学雑誌』第117編10号、2008年
- 高橋秀幸・齋藤文良・片岡耕平「研究所の改組・転換」、東北大学百年史編集委員会編『東北大学百年史2 通史2』、532-559頁、東北大学出版会、2009年
- 加藤諭「昭和初期東北地方における百貨店の催物 - 三越仙台支店、藤崎を事例に - 」、『東北文化研究室紀要』通巻第48集、2007年
- 加藤諭「百貨店による物と文化の地方波及 - 通信販売から百貨店の成立へ - 」、山

- 川出版社『歴史と地理 日本史の研究』通巻 612 号、pp1-15、2008 年
- 加藤諭「戦前期における百貨店の催物 - 三越支店網を通じて - 」、『文化』第 73 卷第 1・2 号、2009 年
- 加藤諭 「戦前期における地方都市百貨店とその影響」、『歴史』第 114 輯 pp.85-108、2010 年
- 兼平賢治「東北の馬にみる幕府御用馬購入策の変遷」、『日本歴史』第 711 号、pp.17-33、2007 年
- 兼平賢治『原町市史 5 近世 資料編』、南相馬市、第 1 章「中村藩の検地と租税の沿革」(pp.2-41)、第 3 章「家・家族と原町商人」(pp.220-387) 分担、2007 年
- 金 銀貞「平城宮馬寮跡出土の「嶋掃」木簡について」 『川内古代史論集』第 7 号、pp.25-33、2010 年
- 小滝雅人「古代伝馬制の利用について」、『国史談話会雑誌』第 49 号、2008 年
- 坂田美咲「近世後期宿場社会の犯罪と内済 奥州郡山宿を事例に 」(『歴史』、東北史学会、第 111 輯、2008 年
- 佐々木淳「近世初期仙台藩領の年貢割付状」、『古文書通信』82 号、2009 年
- 佐々木淳「石巻港の「みなと文化」」、 『みなと文化研究事業』財団法人港湾空間高度化環境研究センター(インターネット上に発表)、2009 年
- 佐々木淳「近世初期仙台藩領浜方の諸役についてー海上高を中心にー」、『歴史』第 115 輯、pp.46-65、2010 年
- 佐竹輝昭「近世初期における譜代成りの構造」、『日本歴史』716、2008 年
- 佐竹輝昭「軍記物語と関八州観念」、『文化』70 卷 3・4 号掲載予定、2008 年
- 佐竹輝昭「徳川家綱期における大名・旗本の参勤交代一覧表(1)」、『東北近世史』第 33 号掲載予定、2008 年
- 佐竹輝昭「関ヶ原合戦」、「幕藩制」、「前中期幕政」、「幕府役職」、「幕府制度」、「旗本・御家人」、『史学雑誌』2008 年度回顧と展望、第 118 編第 5 号、109-111 頁、2009 年
- 佐竹輝昭「近世初期における徳川領国と旧佐竹領」、第 59 回地方史研究協議会大会成果論集『茨城の歴史的環境と地域形成』、雄山閣、pp.71-89、2009 年
- 澁谷悠子「弘前城下 A 寺過去帳について」、『津軽の近世墓標 附編 津軽の寺院過去帳』弘前大学人文学部文化財論ゼミナール調査報告、pp 60 - 84、2007 年

- 関根達人・澁谷悠子「津軽の近世墓標・過去帳にみる社会階層」、『北方社会史への視座』第1巻、2007年
- 関根達人・澁谷悠子「墓標からみた江戸時代の人口変動」、『日本考古学』第24号、2007年
- 澁谷悠子「書評 高木正朗編著『一八・一九世紀の人口変動と地域・村・家族 - 歴史人口学の課題と方法 - 』」、『歴史』第113輯、2009年
- 澁谷悠子「 - 3.研究編 「家と墓の問題」 家ごとにみた墓の形成過程」『近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究』平成19年度～21年度 科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書 pp.74 - 107、2010年
- 澁谷悠子「 - 7.研究編 松前と他地域との交流の問題 人の交流」『近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究』平成19年度～21年度 科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書、pp.162 - 174、2010年
- 澁谷悠子「お殿様の墓・庶民の墓—戒名の格が高いほど墓石大きく—」、『東奥日報』「弘前城 2011年築城 400年へ向けて—城・町・人の歴史万華鏡—第41回」夕刊第6面 東奥日報社、2010年
- 澁谷悠子「仙台城下絵図における川内地区の武家屋敷の分析」、東北大学埋蔵文化財調査年報』19 - 第6分冊、2011年（刊行予定）
- 澁谷悠子「お殿様の墓・庶民の墓—戒名の格が高いほど墓石大きく—」、『弘前城築城四百年—城・町・人の歴史万華鏡—』、清文堂、2011年
- 澁谷悠子「近世大名墓にみる家内秩序—松前藩主家墓所を対象に—」、『東北文化研究室紀要』第52集、pp.21-48、2011年
- 清水翔太郎「嫡孫承祖と人生儀礼 - 秋田藩佐竹義真を事例に - 」、『国史談話会雑誌』第52号、2011年11月公表予定
- 徐禎完 「東アジアの仮面—方相氏の受容を中心に—」、『漢文文化圏の説話世界』（中世文学と隣接諸学 第1巻） 竹林舎、2010年
- 徐禎完 「植民地朝鮮における能」、『アジア遊学』勉誠出版、2010年11月公表予定
- 徐禎完・任城模・宋錫源『翰林日本学叢書・帝国日本の文化権力シリーズ』第1巻『帝国日本の文化権力』図書出版小花、2011年
- 徐禎完「植民地朝鮮と能 京釜鉄等開通式典にて後援された「国家芸能」能

一」(同上に収録)

- 徐禎完 小中村清矩『歌舞音楽略史』(翻訳)、SoMyung、2011年10月刊行予定
- 徐禎完 マーク・ピーティ著、浅野豊美日本語訳『植民地』(ハングル訳)、翰林
新日本学叢書、2012年3月刊行予定
- 菅原朋浩「「軍都」仙台の慰霊～「賊軍」の解消と「軍都」への転換～」、『国史談
話会雑誌』第49号掲載予定、2008年
- 菅原朋浩 紹介：『鹿沼市史 通史編 近現代』(鹿沼市、2006年3月)、『国史
談話会雑誌』第49号、2008年
- 菅原朋浩「紹介 菊地慶子『「杜の都・仙台」の原風景 - 樹木を育てた城下町 - 』」、
『宮城歴史科学研究』65号、2009年
- 高橋雄七「武士身分の入寺 秋田藩所預佐竹南家を例として 」、『東北文化研究
室紀要』第48号、pp17-44、2007年
- 高橋雄七「女性の里方「家」について—秋田藩主家及び重臣の「家」意識—」、『出
羽路』第144、1-17頁、2009年
- 高橋陽一「近世後期の仙台藩領の温泉について 湯守の位置と集団形成 」、『文
化』第70巻3・4号、pp.73-91、2007年
- 高橋陽一「近世の温泉と領主政策 仙台藩領の温泉を事例に 」、『日本歴史』第
708号、pp.63-79、2007年
- 高橋陽一編『東北文化資料叢書 第二集 川渡温泉史料』、東北大学大学院文学研
究科東北文化研究室、2007年
- 高橋陽一「近世の旅先地域と諸営業—上野国吾妻郡草津村を事例に—」、地方史研
究』第338号、5-25頁、2009年
- 高橋陽一「書評 原淳一郎著『近世寺社参詣の研究』」、『民衆史研究』第76号、
65-75頁、2008年
- 平川新・高橋陽一『歴史探訪 関山街道を歩く』、東北建設協会、2009年
- 張 基善 「江戸時代における幕医・藩医の社会的地位試論」、『国史談話会雑誌』
第47号、2007年
- 張 基善 「仙台藩における諸医師とその把握・動員」、『歴史』第109輯、2007
年
- 手嶋泰伸「日中戦争初期における米内光政の基礎的研究」、『国史談話会雑誌』第
48号、2007年
- 手嶋泰伸「第一次日独伊三国同盟交渉と日本海軍」、『歴史』第110輯、2008年

- 手嶋泰伸「鈴木貫太郎内閣の対ソ和平交渉始動と米内光政」、『日本歴史』第 735 号、66-84 頁、2009 年
- 手嶋泰伸「海軍よりみた小磯国昭内閣」、『軍事史学』第 45 卷 2 号、2009 年
- 手嶋泰伸「民間人ブレントラストの設立と日本海軍」、『ヒストリア』217 号、2009 年
- 手嶋泰伸「仙台二中移転問題に見る軍用地払下げの展開過程」、『軍事史学』第 45 卷 4 号、pp.105-120、2010 年
- 手嶋泰伸「米内光政内閣期の政策・新聞・陸軍」、『歴史』第 114 輯、pp.109-135、2010 年
- 手嶋泰伸「仙台停車場位置変更問題にみる明治前期官民関係」、『国史談話会雑誌』第 51 号、2010 年
- 徳竹剛「通年動員態勢下における学徒勤労働員 東北帝国大学法文学部伊勢崎隊」、『東北大学史料館紀要』第 2 号、2007 年 3 月
- 徳竹剛『平成 17～18 年度 文化庁委嘱事業「文化財の震災保護対策に関する調査研究事業」報告書』、宮城歴史資料保全ネットワーク、共著、2007 年
- 徳竹剛「鈴木しづ子著『『男女同権論』の男 深間内基と自由民権の時代』」、『地方史研究』第 334 号、2008 年 8 月
- 徳竹剛「明治初期における地域有力者の政治的活動—福島県安積郡郡山宿の官民関係を手がかりに—」、『歴史』第 111 輯、53-78 頁、2008 年
- 徳竹剛「三新法体制下における地域振興—福島県庁移転運動を事例に—」、『日本歴史』第 738 号、2009 年
- 徳竹剛「〔書評と紹介〕弘前大学附属図書館編『官立弘前高等学校資料目録—北溟の学舎の資料群—』」、『弘前大学國史研究』第 128 号、pp.32-35、2010 年
- 徳竹剛「台ヶ窪地区所有文書について」、台ヶ窪同志会編『台ヶ窪地区記録誌』pp.30-50、2010 年
- 栃木智子『平成 17～18 年度 文化庁委嘱事業「文化財の震災保護対策に関する調査研究事業」報告書』、宮城歴史資料保全ネットワーク、共著、2007 年
- 中川淳「中世史料に見える「心落」の語義とその変遷 寄付的・扶助的行為検討の前提として」、『日本歴史』第 715 号、2007 年
- 中島耕二「明治三二年改正条約実施と外国ミッションの財政移転問題」、『キリスト教史学』第 61 集、pp.47-69、2007 年
- 中島耕二「J・H・バラ - 日本基督公会の創設者 -」、有隣新書『横浜開港と宣

- 教師たち』有隣堂、2008年9月
- 中島耕二 「日本基督一致教会初代牧師・戸田忠厚」、明治学院大学キリスト教研究所『紀要』第41号、2008年12月
- 中島耕二「明治三二年文部省訓令一二号と外国ミッションの対応」、『歴史』113輯 2009年
- 中島耕二「明治二三年インブリー事件」、明治学院大学キリスト教研究所『紀要』第42号、2009年
- 永塚昌仁「鎌倉殿護持僧についての一考察 - 源家三代期から宗尊親王期までを中心に - 」、『山形大学歴史・地理・人類学論集』第8号、pp36 - 54、2007年
- 中野良「軍事演習の政治的側面 行軍演習における住民教化と地域の反応 」、『日本歴史』第706号、pp54-69、2007年
- 中野良「1920年代の陸軍と民衆 軍事演習における賠償問題を中心に 」、『日本史研究』第535号、pp.129-146、2007年
- 中野良「紹介 大谷正著『兵士と軍夫の日清戦争 戦場からの手紙を読む』」、『歴史評論』第688号、pp.103-104、2007年
- 中村崇志「中世興福寺の声聞師編成」、『国史談話会雑誌』第52号、2011年11月公表予定
- 橋本今祐「開化期の若松県における村芝居の存立環境 村中・若衆中の奉納行動をめぐって 」、『芸能史研究』182号、2009年
- 橋本今祐「開化期の御蔵入領における芸能興行の存立環境 若松県胄村の村芝居観客を中心に 」、『日本歴史』73号、2009年
- 橋本今祐「開化期の芸能政策と興行取締りの実際 興行免許地の制限令をめぐって 」、『歴史』113輯、2009年
- 橋本今祐「近代の芸能興行取締りの動向 明治期の福島県を中心に 」、『福大史学』80号、2009年
- 速水健児「近世佐渡における書籍を巡るネットワークと医師・海運業者 柴田収蔵日記を中心として 」、『国史談話会雑誌』第47号、pp.29 - 55、2006年
- 広瀬隆行「身分とジェンダー」、『史学雑誌』2008年度回顧と展望、第118編第5号、127-128頁、2009年
- 星川礼応 「紹介 田代脩著『武蔵武士と戦乱の時代 中世の北武蔵』・江田郁夫著『下野の中世を旅する』」、『国史談話会雑誌』第51号、2010年11月刊行予定

- 松崎瑠美「中近世移行期における女性の役割と奥向 薩摩藩島津家を事例として」、『比較家族史研究』21号、pp39-55、2007年
- 松崎瑠美「近世前期から中期における薩摩藩島津家の女性と奥向」、『歴史』第110輯、pp19-46、2008年
- 松崎瑠美「身分とジェンダー」(ジェンダー・女性)、『史学雑誌』2008年度回顧と展望、第118編第5号、pp.128-129、2009年
- 宮田直樹「近世後期越後縮布流通の一考察—縮問屋加賀屋の江戸・京出役を中心に—」、『国史談話会雑誌』第49号、2008年
- 宮田直樹「職人・手工業」、「商品流通」、「商家経営」、「市場論」、「商人論」、『史学雑誌』2008年度回顧と展望、第118編第5号、121-123頁、2009年
- 森谷円人『原町市史5 近世 資料編』、南相馬市、第9章「幕末・維新」分担(pp.648-798)、2007年
- 森谷圓人「村落と地域社会」、「土地制度・税制」『史学雑誌』2008年度回顧と展望、第118編第5号、116-118頁、2009年
- 森谷圓人「天保期、高抜地をめぐる地域社会と権力—出羽国村山郡松橋村上組を事例として—」、『歴史』第114輯、pp.53-84、2010年
- 森谷圓人「村による高抜地解消運動と地域社会、幕府寺社奉行所 近世後期、出羽国村山郡片谷地村を事例として」、『文化』"第75巻1・2号、pp.1-19、2011年
- 森谷圓人「近世後期、高抜地負高請をめぐる幕府代官所、村と地主集団 出羽国村山郡日和田村を事例として」、『東北文化研究室紀要』第52集別冊、pp.49-64、2011年
- 門馬健「「世話集聞記」に見る会津藩の政治行動 文久政変に至るまで」、『国史談話会雑誌』第47号、2007年
- 吉川圭太『平成17~18年度 文化庁委嘱事業「文化財の震災保護対策に関する調査研究事業」報告書』、宮城歴史資料保全ネットワーク、共著、2007年
- 吉川圭太「第一次大戦後における弁護士布施辰治の思想と行動 その職務観の変遷を中心に」、『歴史』第109輯、2007年11月
- 吉川圭太「布施辰治」、伊藤隆・季武嘉也編『近現代日本人物史料情報辞典 3』、吉川弘文館、2007年
- 吉川圭太「1920年代社会運動における法的実践 借家人運動を中心に」(仮題)、『民衆史研究』78号、pp.21-38、2009年

吉川圭太「資料紹介『東北帝国大学新聞』掲載の布施辰治執筆記事について」、
『東北大学史料館紀要』第5号、pp.28-38、2010年

吉川圭太「市民が描いた阪神・淡路大震災」、板垣貴志・川内淳史編『阪神・淡路大震災像の形成と受容 震災資料の可能性』岩田書院、2010年12月刊行予定

(2) 口頭発表

相澤秀太郎「蝦夷表記の成立」、東北史学会、東北大学、2007年9月30日

相澤秀太郎「唐顕慶四年蝦夷入朝の政治的意義」第49回蝦夷研究会、岩手大学、岩手県盛岡市、2010年6月19日

相澤秀太郎「斉明天皇五年の遣唐使と蝦夷 - 蝦夷帯同の目的をめぐって -」、東北史学会大会研究報告(日本古代・中世史部会)、山形大学、山形県山形市、2010年10月3日発表予定

天野真志「幕末期秋田藩の京都警衛問題と「言路閉塞」—藩内平田国学派勢力への対応をめぐって—」2008年東北近世史サマーセミナー 於山形県東根市
2008年8月31日

天野真志「幕末京都政局と京都留守居役—秋田藩長瀬直温の事例から—」、東北史学会大会研究報告(日本近世・近代史部会)、秋田大学、秋田県秋田市、2008年10月5日

天野真志「慶応期の平田延胤と秋田藩—『馭戎論』をめぐり政治的背景—」、第54回「書物・出版と社会変容」研究会報告、一橋大学、東京都国立市、2010年2月6日

石川光年「鎌倉幕府の所領没収」、国史談話会大会、東北大学文学研究科、2007年6月9日

遠藤みどり「立太子儀からみた皇太子の特質」、2007年度東北史学会、東北大学、2007年9月30日

遠藤みどり「日中譲位考—君主位継承における皇太子の位置づけをめぐって—」王権研究会第17回例会、國學院大學渋谷キャンパス、東京都渋谷区、2008年11月23日

遠藤みどり「記紀皇后観の成立」2009年度国史談話会大会研究報告、東北大学、宮城県仙台市、2009年6月13日

遠藤みどり「「大后制」の再検討」、仙台古代史懇話会4月例会、仙台市戦災復興

- 記念館、宮城県仙台市、2010年4月18日
- 遠藤みどり「令制キサキ制度の成立」東北史学会大会研究報告（日本古代・中世史部会）、東北大学、宮城県仙台市、2009年10月3日
- 遠藤みどり「皇后制の成立」第39回古代史サマーセミナー、お宿いしちょう、京都市、2011年8月19日
- 小佐野浅子「戦国期甲斐国都留郡小林氏に関する基礎的考察」、第331回戦国史研究会例会、新宿区立図書館、2007年6月9日
- 小佐野浅子「中近世移行期の土豪層の動向」、武田氏研究会ワーキンググループ、慶應義塾大学、2007年9月15日
- 小佐野浅子「中近世移行期の駿河芹沢氏の動向」、東北学院大学中世史研究会第34回大会、東北学院大学土樋キャンパス、宮城県仙台市、2008年12月6日
- 小佐野浅子「山形大学附属博物館寄託「秋山家文書」の紹介」、武田氏研究会ワーキンググループ8月例会、新宿3丁目ルノアール、東京都新宿区、2010年8月10日
- 小佐野浅子「土豪の生業と地域社会」、東北史学会大会、2011年10月2日発表予定
- 小幡圭祐「明治初期井上馨と大蔵省勸農政策」、内務省研究会、慶應義塾大学、2008年5月31日
- 小野澤真「「新仏教」形成過程と東寺における庶民信仰」東寺文書研究会第17回例会、京都商工会議所2階第1教室、2008年8月3日
- 小野澤 真「時衆成立史と真宗—「一向衆」の分岐点を中心として—」、同朋大学仏教文化研究所真宗史研究会第18回例会、同朋大学成徳館3階J301教室、2008年6月28日
- 小野澤 真「「新仏教」形成過程と東寺における庶民信仰」、東寺文書研究会第17回例会、京都商工会議所2階第1教室、2008年8月3日
- 片岡耕平「日本中世社会における触穢の社会的意義」、六軒丁中世史研究会、東北学院大学、2007年7月7日
- 片岡耕平「聖なるものの転換をめぐって」、東北中世史研究会シンポジウム、仙台市戦災復興記念館、2008年8月10日
- 片岡耕平「日本中世の疾病観について—世界観をめぐる議論の一視点として—」、東北史学会大会研究報告（日本古代・中世史部会）、秋田大学、秋田県秋田市、2008年10月5日

加藤諭「昭和初期における地方百貨店の催物」、東北近世史研究会春の例会、片平市民センター、2007年3月3日

加藤諭「戦前期の地方都市における百貨店成立過程」、東北史学会大会、東北大学、2007年9月30日

加藤諭「戦前期における百貨店の地方進出 - 大都市百貨店の地方支店設置を中心に - 」、史学会大会、東京大学、2007年11月18日

加藤諭「戦前期地方都市における百貨店 - 大都市百貨店の地方支店設置を中心に - 」、近現代日本の生活様式と社会環境からみた都市と農村の比較研究研究会(科研費補助金基盤研究(B))、於名古屋大学、2008年8月1日

加藤諭「社会生活から読む近代日本史」学都「仙台・宮城」、サイエンスデイ 2009 東北大学、宮城県仙台市、2009年7月5日

加藤諭「戦前期東北における百貨店の展開」、宮城歴史科学研究会例会、東北大学、宮城県仙台市、2009年7月18日

加藤諭「社会生活から読む近代日本史」、学都「仙台・宮城」、サイエンスデイ 2010、東北大学、宮城県仙台市、2010年7月11日

加藤諭「戦前期地方都市における百貨店と催物」、近現代日本の生活様式と社会環境からみた都市と農村の比較研究研究会(科研費補助金基盤研究(B))、名古屋大学、愛知県名古屋市、2010年1月15日

兼平賢治「東北の馬にみる幕府御用馬購入策の変遷と幕府政治」、全国近世史セミナー、宮城県東松島市かんぼの宿松島、2007年7月15日

金 銀貞「平城宮庭園に関する考察—西池宮を中心に—」、東北史学会大会研究報告(日本古代・中世史部会)、東北大学、宮城県仙台市、2009年10月3日

金 銀貞「園池司の職掌について」、仙台古代史懇話会7月例会、仙台市戦災復興記念館、宮城県仙台市、2010年7月18日

金 銀貞「平城京跡出土の園司木簡について」、東北史学会大会研究報告(日本古代・中世史部会)、山形大学、山形県山形市、2010年10月3日

熊谷隆次「南部信直と代官木村秀勝」、国史談話会大会、東北大学、2011年6月11日

熊谷隆次「近世初期北奥領主の元服状・一字状—南部氏を中心に—」、東北史学会大会、東北大学、2011年10月2日発表予定

小滝雅人「古代伝馬制のあり方」、第49回地方史研究協議会日本史関係卒業論文発表会、國學院大學、2008年4月19日

齊藤和輝 「戦時から戦後の東北意識・東北観 ―東亜連盟運動の検討を通じて―」
2010 年度国史談話会大会研究報告、東北大学、宮城県仙台市、2010 年 6 月
12 日

齊藤和輝 「戦時から戦後の東北意識・東北観 ―東亜連盟運動の検討を通じて―」
仙台近現代史研究会・例会、東北大学、宮城県仙台市、2010 年 6 月 24 日

坂田美咲「近世後期の宿場社会と犯罪 - 奥州郡山宿を事例に - 」、第 48 回地方史
研究協議会日本史関係卒業論文発表会、駒沢大学、2007 年 4 月 21 日

佐々木淳「近世初期仙台藩の新田開発について」、仙台藩研究会、場所未定、2010
年 11 月 27 日

佐竹輝昭「近世初期における徳川鎖国と常陸」、地方史研究協議会大会、常磐大学、
2008 年 10 月 19 日

佐藤和道「日本古代の祥瑞思想」、2009 年度国史談話会大会研究報告、東北大学、
宮城県仙台市、2009 年 6 月 13 日

佐藤大介「名望家たちの奥羽横断道路構想―明治初期の山形・宮城両県における地
域振興策をめぐって―」、東北史学会、東北大学、2007 年 9 月 30 日

澁谷悠子「“松前稼”の実態」『墓石から見た松前藩と近世日本』、松前町町民総
合センター、北海道松前町、2009 年 8 月 23 日シンポジウム

澁谷悠子「福山城下における他国者の流入と定着、死に関する基礎的考察」東 北
近世史研究会、ラフォーレ蔵王リゾート&スパ、宮城県刈田郡蔵王町、2010
年 2 月 28 日

澁谷悠子「蝦夷地寺院国泰寺における将軍・藩士の死」、民衆思想研究会・東北近
世史研究会合同研究会、東北大学、2011 年 8 月 27 日

清水翔太郎「嫡孫承祖と人生儀礼 - 秋田藩佐竹義真を事例に - 」、東北史学会大会、
東北大学、2011 年 10 月 2 日

徐禎完「1980 年代韓国日本学会の活動と研究成果」、韓国日本学会、大韓民国、
2012 年 2 月発表予定

菅原朋浩 「「軍都」仙台の慰霊～「賊軍」の解消と「軍都」への転換～」、国史談
話会、東北大学文学部、2008 年 6 月 14 日

高橋雄七「角館の歴史とまちづくり―みんなの力でできた城下町―」平成 20 年度
美の国カッパ 仙北キャパ ス開講記念講演、仙北市角館交流センター、秋田県仙北市、
2008 年 10 月 11 日

高橋雄七「近世城下町角館」、2009 年度秋田大学地域アカデミー、秋田大学

- 、秋田県秋田市、2009年9月30日
- 高橋陽一「18～19世紀における温泉運営の展開—草津温泉を事例に—」、東北近世史研究会3月例会、仙台市片平市民センター、2007年3月3日
- 高橋陽一「幕末～明治初期における旅先地域の運営体制—秋保温泉の事例を中心に—」、東北史学会大会、東北大学、2007年9月30日
- 高橋陽一「近世における旅先地域の成り立ちと展開—上野国吾妻郡草津村を事例に—」、関東近世史研究会9月度例会、前橋中央公民館、2008年9月27日
- 高橋陽一「合評会報告：青柳周一・高埜利彦・西田かほる編『近世の宗教と社会第1巻 地域のひろがり』」、論集『近世の宗教と社会』合評会、学習院大学、2008年12月14日
- 高橋陽一「近世における旅先地域の成り立ちと展開—上野国吾妻郡草津村を事例に—」、関東近世史研究会・群馬歴史民俗研究会例会 合同開催、前橋中央公民館群馬県、前橋市 2008年9月27日
- 高橋陽一「名所の歴史的展開と寺社・宗教者」、歴史学研究会日本近世史部会12月例会・近世の宗教と社会研究会『近世の宗教と社会』合評会 合同開催、学習院大学、東京都豊島区、2008年12月14日
- 張 基善 「仙台藩の『医師証文』と医学知識の機能」、全国近世史サマーセミナー、宮城県東松島市かんぼの宿松島、2007年7月15日
- 張 基善 「仙台藩の『医師証文』と医学知識の機能」、東北近世史研究会5月例会、東北大学、2007年5月26日
- 手嶋泰伸「米内光政内閣再考」、第226回梧陰文庫研究会、國學院大學渋谷キャンパス、東京都渋谷区、2009年4月18日
- 手嶋泰伸「日本降伏の政治過程と米内光政」、現代史サマーセミナー、大野木荘、静岡県静岡市、2009年8月9日
- 手嶋泰伸「ロンドン海軍軍縮問題における日本海軍」、東北史学会大会研究報告(日本近世・近代史部会)、東北大学、宮城県仙台市、2009年10月3日
- 手嶋泰伸「東条英機内閣末期における海軍の倒閣運動」、第107回史学会研究報告、東京大学、東京都文京区、2009年11月8日
- 手嶋泰伸「海軍首脳部の対米開戦決意」、国史学会7月例会、國學院大學渋谷キャンパス、東京都渋谷区、2010年7月10日
- 手嶋泰伸「コメント：歴史学の視点から」、シンポジウム 近代日本の戦争と宗教、東北大学、宮城県仙台市、2010年9月6日

- 手嶋泰伸「海軍の対米開戦決意」、仙台近現代史研究会・第4回セミナー、かんぼの宿松島、宮城県松島市、2010年9月12日
- 手嶋泰伸「ロンドン海軍軍縮問題における海軍内対立の実態」、近現代史研究会、名古屋大学、愛知県名古屋市、2010年10月30日発表予定
- 徳竹剛「岩越線の起点獲得運動—町場から地方都市へ—」、仙台近現代史研究会・第3回セミナー、かんぼの宿松島、宮城県東松島市、2009年9月12日
- 中川淳「「世間」にみる代表具現的公共圏の崩壊と中世的「公」の構造」東北史学会大会、東北大学、2007年9月30日
- 中島耕二「明治三二年文部省訓令第一二号と外国ミッションの対応」、教育史学会第51回大会、四国学院大学、2007年9月22日
- 中島耕二「日本基督一致教会初代牧師・戸田忠厚」、横浜プロテスタント史研究会287回例会、日本キリスト教団横浜指路教会、2007年12月15日
- 中島耕二「横浜開港と宣教師たち」、有隣堂座談会、横浜東急ホテル、2008年5月22日
- 中野良「日本陸軍の演習と「典範令」」、仙台近現代史研究会第1回セミナー兼東北学院大学オープン・リサーチ・センター第3回研究会、ホールサムインばんじ、2007年9月23日
- 橋本今祐「開花期における会津御蔵医療の芸能興行の存立環境」、第44回芸能史研究大会、京都市勧業館、2007年6月3日
- 橋本今祐「開花期における会津御蔵医療の芸能興行の存立環境」、国史談話会大会、東北大学大学院文学研究科、2007年6月9日
- 星川礼応「室町期今川氏庶流家の系譜に関する考察」、2010年度国史談話会大会研究報告、東北大学、宮城県仙台市、2010年6月12日
- 松崎瑠美“The Wives’ Posts and Roles in Early Modern Japan: A Case Study of the Shimazu Family in the Satsuma-han”、東北大学大学院文学研究科21世紀COEプログラムワークショップ、東北大学、2007年7月23日
- 松崎瑠美「奥向を通じた幕藩関係—薩摩藩島津家を事例として—」、東北史学会大会、東北大学、2007年9月30日。
- 松崎瑠美「近世武家社会のジェンダー・システムと女性の役割」、第6回東北大学男女共同参画シンポジウム、仙台国際センター、2007年11月17日
- 松崎瑠美「近世大名家の家族と政治—薩摩藩島津家を中心に—」、比較家族史学会研究大会第50回記念大会、東北大学、2008年6月21~22日

松崎瑠美“Family and Gender in the Edo period”、東北大学大学院文学研究科グローバルCOE プログラムワークショップ、東北大学、宮城県仙台市、2008年12月1日

松崎瑠美“Family and Gender in Premodern Japan”、The Third International Symposium on Frontiers of Sociological Inquiries by Young Scholars in Asia、延世大学、韓国ソウル、2009年3月12～13日

松崎瑠美“Family and Gender Inequality in the Edo Period and Early Modern Japan”、Society for East Asian Anthropology Taiwan Society for Anthropology and Ethnology Taipei 2009、中央研究院民族学研究所、台湾台北、2009年7月2～5日

宮田直樹「近世後期越後縮布流通の一考察—縮問屋加賀屋の江戸・京出役を中心に—」、地方史研究協議会・第49回日本史関係卒業論文発表会、國學院大學渋谷キャンパス、東京都渋谷区、2008年4月19日

山口久美子「古代の相撲の節会」、2010年度国史談話会大会研究報告、東北大学、宮城県仙台市、2009年6月13日

吉川圭太「「集団自決」をめぐる教科書問題の経過と問題点」、宮城歴史科学研究会例会、東北学院大学、2008年2月23日

吉川圭太「1930年代における布施辰治と土地制度研究—『奥の入会紀行』を中心に—」、岩手近現代史研究会（第38回研究会）、岩手県立大学アイーナキャンパス、2009年3月10日

吉川圭太「1920年代の社会運動と弁護士集団—自由法曹団の結成と動向—」、日本史研究会近現代史部会（6月部会）、機関紙会館、2009年6月25日

吉川圭太「布施辰治研究の動向と課題」、宮城歴史科学研究会大会、於東北学院大学土樋キャンパス、宮城県仙台市、2010年9月25日

3 大学院生・学部生等の受賞状況

倉本大樹 平成19年度総長賞（学部）、2007年度

茂木謙之介 平成20年度総長賞（学部）、2008年度

高橋陽一 平成20年度総長賞（大学院）、2008年度

佐竹輝昭 第7回徳川奨励賞、財団法人徳川記念財団、2010年度

4 日本学術振興会研究員採択状況

2007年度 DC採用 1人

2009年度 PD採用 1人 DC採用 2人(1人は就職のため辞退)

2011年度 PD採用 2人(中野良、手嶋泰伸)

5 留学・留学生受け入れ

5-1 大学院生・学部学生等の留学数

なし

5-2 留学生の受け入れ状況(学部・大学院)

年度	学部	大学院	計
07	3	1	4
08	4	0	4
09	1	1	2
10	1	1	2
11	3	0	3
計	12	3	15

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
07	1	1	2
08	0	0	0
09	0	1	1
10	1	1	2
11	2	1	3
計	4	4	7

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人

7-1 専攻分野出身の研究者

佐藤大介 東北大学東北アジア研究センター研究員 2007年度

栗原伸一郎 東北芸術工科大学文化財保存修復センター研究員 2007年度

中野渡俊治 花園大学文学部専任講師 2009年度

風間亜紀子 東北大学大学院文学研究科助教 2009年度

江田郁夫 栃木県立博物館学芸員 2009年度

坂田美咲 仙台市博物館学芸員 2009年度

松崎瑠美 グローバルCOE 研究員 2010 年度
天野真志 東北大学東北アジア研究センター調査協力員 2010 年度
安宅俊介 新潟市立博物館学芸員 2011 年度
張 基善 一関市立芦東山記念館専門研究員
永井隆之 台湾国立政治大学外国語文学院日本語文学系助理教授 2011 年度
渡邊 俊 福岡女子大学国際文理学部講師 2011 年度
徳竹 剛 福島大学人文社会学類准教授 2011 年 10 月 1 日
加藤 諭 東北大学史料館教育研究支援者 2011 年 10 月 1 日

7-2 専攻分野出身の高度職業人

高校教員 6 人
出版社社員 1 人
新聞社社員 2 人
図書館職員 3 人

8 客員研究員の受け入れ状況

釜慶大学校（大韓民国）助教授 申宗大 2007 年 7 月 1 日～2008 年 5 月 30 日
ソウル大学校（大韓民国）HK 研究教授 金 聖洙 2010 年 3 月 1 日～2010 年 5 月 31 日

9 外国人研究者の受け入れ状況

なし

10 刊行物

『歴史』 東北史学会 毎年度 2 回刊行
『国史談話会雑誌』 東北大学国史談話会 毎年度 1 回刊行。

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2005～2011 年度 東北史学会事務局
2005～2011 年度 国史談話会事務局
2005～2011 年度 宮城歴史科学研究会事務局

2005～2011 年度 国史談話会大会開催
2005～2011 年度 東北史学会大会開催
2007 年度 全国近世史サマーセミナー開催（事務局）
2007 年度 国際シンポジウム「日本と韓国のジェンダー」開催
2008 年度 比較家族史学会大会
2009 年度 国際シンポジウム「文書館・博物館のこれからとアーキビスト・キュレーター養成」
2011 年度 民衆思想研究会大会
2011 年度 シンポジウム「災害におけるジェンダーとマイノリティ」

1 2 専攻分野主催の研究会等活動状況

古代史研究会 研究室の学生を中心とする。毎週開催。
中世史研究会 研究室の学生を中心とする。毎週開催。
近世史研究会 研究室の学生を中心とする。毎週開催。
近代史研究会 研究室の学生を中心とする。毎月開催。
古代史懇話会 研究室構成員と学外者。毎年例会 2 回。
東北中世史研究会 研究室構成員と学外者。毎年例会 3 回程度、サマーセミナー 1 回。
東北近世史研究会 研究室構成員と学外者。毎年セミナー 2 回。
仙台近現代史研究会 研究室構成員と学外者。毎年例会 3 回程度、セミナー 1 回。

1 3 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

日本史専攻分野では、2009 年度末に教授今泉隆雄が定年により退職したが、2010 年度より堀裕が准教授として新たに採用となり、また柳原敏昭が教授に昇任した。その結果、教員構成は従来通りの教授 2 人、准教授 2 人、助教 1 人が維持され、古代・中世・近世・近現代の各時代の専門家をそろえ、専門的な教育ができる態勢となっている。学年ごとに、学部学生の定員は 15 人、大学院の定員の目安は前期課程 4 人、後期課程 2 人である。この 5 年間、学部は 2007 年度の 2 年次生以外は定員を満たしている。大学院は、例年入学定員を上回っていたが、定年に伴う教員の交代時期にさしかかっていることも影響して、2009・2011 年度の後期課程入学者が定員を下回った。しかし、本研究室在籍者総数は、研究生等の非正規学生も含めると恒常的に 75 人以上、年度によっては 90 人以上に上り、教員の教育面での負担は重い。

学部教育は、内発的な問題意識をもって、自ら課題を設定し、自分の考えを論理的に表現できる能力の養成を目標にし、2年次に古文書学、各時代の日本史基礎講読、3年次から各時代の日本史演習、日本史実習の授業を配し、史料の読解力、論文の理解力などの基礎学力を身につけさせ、4年次に卒業論文あるいは卒業研究の作成を行わせている。卒業論文はテーマに関わる史料の分析にもとづいて自身の見解を論述させ、卒業研究は卒業論文より大きなテーマに関する学説史の整理をさせている。大学院進学希望者は卒業論文を義務づけているが、就職希望者であっても毎年度、大半は卒業論文を選択している。卒業論文では毎年、学会誌に発表できるレベルのものが2、3本はあり、地方史研究協議会主催の日本史関係卒業論文発表会にもほぼ毎年1名参加し、高い評価を得ている。東北大学総長賞も日本史専修学生が過去5年間で3名受賞した。

毎年、学部3年生を対象に研修旅行を実施し、史跡や歴史系の博物館・史料館・文書館などを見学させ、歴史を肌で感じさせることも試みている。行き先は学生の希望によって決め、奈良・京都が多いが、2008・2010年度は中国地方にて実施した。研修旅行は学生たちに自主的に企画・実施させており、歴史教育という面のみならず、企画力や行動力を培い、学生相互および学生と教員の親睦を深める上でも大きな意義をもっている。

以上、総じて学部教育で意図しているところは達成できていると評価できる。

一方、大学院においては、学部で培った基礎的学力を基に自己の研究を進展させ、修士論文（2010年度からは修士研究も選択可能となった）・博士論文を完成させるように指導している。また、歴史学の教育のみならず、学部では日本史実習、大学院では史料管理学の授業を設けてアーキビスト養成教育も行っている点が本研究室の特徴であり、国立公文書館、文化庁文化財調査官、全国各地の公立文書館・歴史博物館、大学史料館等に多くの人材を送り出してきている。2009年度～2011年度には「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」という課題で文部科学省の組織的な大学院教育改革推進プログラム（大学院GP）に採択され、日本史専攻分野はアーキビスト養成コースを担うことになったので、その教育に必要な機材とアーカイブズ学関係の図書の充実をはかるとともに、実地教育として東北大学附属図書館、東北大学史料館、一関市芦東山記念館等に所蔵されている史料の整理と目録作成を行い、学内外の史料保存利用体制の整備に貢献した。

2004年度以降は、2003年の宮城県北部地震で被災し、本学の日本史関係の教員・学生が救出活動を行ったのが機縁となって本学附属図書館に寄贈された宮城県河南町齋藤家史料の整理を、アーキビスト養成教育の一環として進め、2010年度に目録を完成

した。齋藤家は戦前においては全国第2位の巨大地主家であり、伝来史料群は100万点を超える膨大なもので、全国的に注目を集めており、2007年7月には仙台放送が「シリーズ東北大学百年物語」の一環として、その整理作業を取材し放映している。当史料目録は本年度中に本学附属図書館ホームページのウェブ上で公開し、史料の閲覧公開も開始する予定になっている。

2003年から宮城歴史資料保全ネットワークが、宮城県北部地震で被災した歴史資料の救出と、予想される宮城県沖地震に備えるための地域伝来の史料の所在調査を行っている。その主体となっているのは本研究室の学生であり、地域の史料保存への貢献は大なるものがある。本年3月には東日本大震災に見舞われ、広範囲にわたって歴史資料も被災し、各地でその救出・保全活動が展開されているが、中心となって活動しているのは本研究室の出身者であり、教員・学生もボランティアとして貢献している。地震で散乱した本学附属図書館所蔵史料の片付けを行ったのも、本研究室の教員と学生である。

本研究室は東北地方の日本史研究の拠点として活動してきており、研究室には東北史学会（日本史・東洋史・ヨーロッパ史・考古学の研究者を網羅する東北地方最大の歴史学会）と国史談話会（本研究室の教員・在籍学生・卒業生・大学院修了生からなる同窓の学会）の事務局が置かれ、運営の中心を担っている。毎年、大会を開催し、定期の機関誌を刊行しているが、東北史学会と国史談話会の両大会ともに講演会は一般市民にも公開しており、研究成果の社会への普及の機会ともなっている。特に2009年度東北史学会大会では、上記大学院GPとの共催で、国際シンポジウム「文書館・博物館のこれからとアーキビスト・キュレーター養成」を開催し、大きな成功を収めた。

この他、本研究室の教員・学生と外部の研究者によって古代史懇話会、東北中世史研究会、東北近世史研究会が組織され、例会とセミナーを開催している。2006年度には、新たに仙台近現代史研究会も発足し、活動を開始した。これらは全国的な研究集会も主催している。列挙すれば次の通りである。全国近世史サマーセミナー（2007年）、東北中世史研究会主催のシンポジウム（2008年・2010年。前者の記録集は出版されている）、第73回民衆思想研究会（2011年）。

学生の自主的な研究会活動も活発であり、古代・中世・近世・近代の時代別に研究会が組織され、毎週、読書会や史料講読会を開催している。また、宮城歴史科学研究会の運営においても本研究室の教員と大学院生が事務局を担い、中心的な役割を果たしている。

本文学研究科主宰「21世紀COEプログラム 社会階層と不平等研究教育拠点の形成」（2003～2007年度）、「グローバルCOEプログラム 社会階層と不平等研究教育拠点

の世界的展開」(2009年度～)には、本専攻分野より大藤修が事業推進担当者として参画した。また COE に研究員に 2 名、COE 大学院生に計 3 名、グローバル COE に研究員 1 名、大学院生 1 名が採用され、学際的な研究活動を行ってきた。その一環として、日本史専攻の研究員と大学院生が企画して 2007 年度に「日本と韓国のジェンダー」というテーマで国際シンポジウムを開催した。ー」というテーマで国際シンポジウムを開催した。また 2011 年 12 月には、グローバル COE に参画している日本史専攻の教員と研究員の企画で、「災害とジェンダー・マイノリティ」というテーマのシンポジウムを開催する予定である。

過去 5 年間における大学院生の論文等の発表や学会・研究会での口頭発表は総じて活発であったと評価できる。2006 年度より文学研究科東北文化研究室が刊行を開始した『東北文化資料叢書』も第 1、2 集は本研究室の大学院生が編集を担当しており、『東北文化研究室紀要』にも毎年論文を発表するなど、東北文化研究室の活動への貢献度は高いものがある。課程博士の学位は、コンスタントに毎年 2、3 名が取得している。優れた研究成果をあげた若手研究者に授与される徳川奨励賞も 1 名が受賞した。東北大学総長賞受賞者も 1 名いる。日本学術振興会研究員の採用件数は、一時減少したが、2009 年度には P.D.1 名、D.C.2 名(うち 1 名は就職により辞退)、2011 年度には P.D.2 名が採用されている。毎年の学界動向をサーベイする『史学雑誌』の所謂「回顧と展望」は、重要な企画である。2009 年に大藤修(日本近世)と柳原敏昭(日本中世)が、研究室員とその出身者、在仙研究者を組織して担当した。大学院生も多数執筆した。

本学創立 100 周年記念事業の一環として進められ、2010 年 3 月をもって終了した東北大学百年史編纂事業においては、本専攻分野の教員が中心的な役割を担った。今泉隆雄が編集委員会委員長・編纂室長、大藤修が編集委員会委員と通史専門委員会委員・部会長をそれぞれ務めたほか、柳原敏昭・安達宏昭の両名も執筆を担当し、同事業の一環としての研究活動も行った。また、本研究室の大学院生も編纂業務を援助した。東北大学創立 100 周年記念展示「東北大学の至宝」(2007 年 9 月～12 月、江戸東京博物館・仙台市博物館)においても、今泉隆雄が同展対応作業部会主査、柳原敏昭が部会員として、展示、図録作成、フロアレクチャー等を行い、成果を『ものがたり東北大学の至宝』(共著、東北大学出版会、2008 年)として刊行した。

2011 年 9 月 27 日～10 月 3 日には、東北大学史料館・大島正隆文書研究会主催「清風一過 大島正隆の歴史学と民俗学」(於附属図書館本館)が開催され、東北史学会とも開催時期が重なって、学外からも多くの見学者を集めた。主催の大島正隆文書研究会は本研究室員・出身者が主体であり、本研究室も共催に名を連ねている。

この他、各教員と大学院生が東北地方の自治体史編纂事業に委員として参画し、その一環として史料の調査・保存活動と地域史研究を進めている点も、本研究室の特色である。

活動の場は国際的にも広がっている。大藤修がシンガポールで講演を行い、柳原敏昭が韓国で調査を実施している。大学院生も内外の国際学会で発表している。

教員の研究活動（2007～2011年度）

1 教員による論文発表等

1 - 1 論文

今泉隆雄「郡山遺跡から多賀城へ」、『第34回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』、pp.161-166、2008.

大藤 修「秋田藩佐竹家子女の人生儀礼と名前 徳川將軍家と比較して」、『国立歴史民俗博物館研究報告』、pp.173-223、2008.

大藤 修「日本近世の身分・階層・ジェンダー」、原純輔他編『社会階層と不平等』、放送大学教育振興会、pp.86-97、2008.

大藤 修「姓・名字・名前に探る日本の歴史 身近な事象から歴史を考える」、『米沢史学』第24号、pp.1-31、2008.

大藤 修「組織体と文書料紙 幕府代官所文書を事例に－」、富田正弘編『2006～2007年度科学研究費補助金基盤研究(A)「紙素材文化財(文書・典籍・聖教・絵図)の年代推定に関する基礎的研究」研究成果報告書』、pp.50-57、2010.4

大藤 修「百姓身分と家」、『江戸の人と身分2 村の身分と由緒』、吉川弘文館、pp.10-37、2010.7

柳原敏昭「東北と琉球弧 島尾敏雄『ヤポネシア論』の視界」、『東北文化研究室紀要』48、pp.97-106、2007.

柳原敏昭「薩摩国阿多郡地頭鮫島氏系譜考」、峰岸純夫・入間田宣夫・白根靖大編『中世武家系図の史料論』上巻、高志書院、pp.193-221、2007.

柳原敏昭「東北帝国大学時代の栗原百寿」、『六軒丁中世史研究』13、pp.118-132、2008.

柳原敏昭「東北帝大入学前後の大島正隆」、『東北中世史研究会会報』18、pp.1-16、2008.

柳原敏昭「太田正雄東北帝大医学部教授(木下空太郎)と学生たち」、人文社会科学講演シリーズ『東北人の自画像』、東北大学出版会、pp.131-174、2010.

- 柳原敏昭「『源氏南部八戸家系』の成立」、2007年度～09年度科学研究費補助金・基盤研究B(研究代表者 齊藤利男)『南部光徹氏所蔵「遠野南部家文書」の調査・研究』研究成果報告書、pp23-39,2010.
- 柳原敏昭「滝川事件と東北帝国大学」、『宮城歴史化学研究』66,pp.1-29,2010.
- 柳原敏昭「唐坊と唐人町」、荒野泰典・石井正敏・村井章介編 日本の対外関係4 『倭寇と「日本国王」』吉川弘文館、332p、pp.204-214,2010.
- 安達宏昭「『大東亜建設審議会』」と『食糧自給』構想」、東北史学会『歴史』第108号、pp.1-29、2007.
- 安達宏昭「戦時動員体制と立教中学校」、老川慶喜・前田一男編『ミッションスクールと戦争 立教学院のディレンマ』東信堂、499p、pp.307-337、2008.
- 安達宏昭「『決戦体制』下の『大東亜建設審議会』と繊維原料増産」、『東北大学文学研究科研究年報』第58号、2009.
- 安達宏昭「『決戦体制』下の『大東亜建設審議会』と鉱産資源開発」、『日本植民地研究』第21号、2009.
- 安達宏昭「大学における『歴史学』教育の意義と方法 - 『概説科目(教職教科専門科目)』に着目して - 『宮城歴史科学研究』第67号、2010
- 安達宏昭「『大東亜建設審議会』論 - 戦時期の『自給圏建設』をめぐる - . 『近現代日本における戦争と平和』、現代史料出版。2011
- 安達宏昭「日本の東南アジア・南洋進出」『岩波講座 東アジア近現代通史』第4巻(社会主義とナショナリズム)、2011
- 堀裕「奈良平安期における紀寺・璉城寺の基礎的考察」、『大阪樟蔭女子大学(学芸学部)論集』第45号、大阪樟蔭女子大学学芸学部、pp.283-292、2008年
- 堀裕「平安期の御願寺と天皇 九・十世紀を中心に」、『史林』第91巻1号、史学研究会、pp.67-100、2008
- 堀裕「東大寺大仏と宮 - 大仏供起源考 - 」、『日本史研究』596号、日本史研究会、pp.1-24、2010
- 堀裕「近現代における奈良市璉城寺の「縁起」」、『大阪樟蔭女子大学(学芸学部)論集』第47号、大阪樟蔭女子大学学芸学部、pp.226-232、2010
- 堀裕「七～九世紀における天皇の祖先祭祀 - 山陵・神宮・廟の関係史 - 」、『律令国家史論集』、栄原永遠男・西山良平・吉川真司編、塙書房、pp.207-225、2010
- 堀裕「平安京と寺々 平安初期の構造と歴史」、『古代の都3 恒久の都 平

- 安京』、西山良平・鈴木久男編、吉川弘文館、pp.237 - 256、2010
- 堀裕「『化他の時代』 - 天長・承和期の社会政策と仏教」、『仁明朝史の研究 - 承和転換期とその周辺』、角田文衛監修・財団法人古代学協会編、思文閣出版、pp.81 - 106、2011
- 風間亜紀子「阿弥陀浄土院造営機構の再検討」、『ヒストリア』第 207 号、pp.31-53、2007.
- 風間亜紀子「高市大寺関連史料の再検討 その所在地をめぐって」、『川内古代史論集』第 7 号、pp.3-16、2010 .

1 - 2 著書・編著

- 大藤 修『原町市史 第 5 巻 資料編 「近世」』（編共著）、大藤 修（責任編集）/堀田幸義/兼平賢治他 4 名、福島県南相馬市、852p、pp.534-604（第 7 章「報徳仕法」校訂）、pp.800-838（「解題」執筆）、2007.
- 大藤 修『東北大学百年史 通史編 1』（編共著）、東北大学出版会、（「文・法・経三学部の独立」pp . 562-571、「イールズ事件」pp . 617-702 執筆）、2007 .
- 大藤 修『叢書仙台・江戸学講座 仙台藩の学問と教育 江戸時代における仙台の学都化』（単著）、大崎八幡宮、70p、2009.
- 大藤 修『検証 イールズ事件 占領下の学問の自由と大学自治』（単著）、清文堂出版、253p、2010 .
- 柳原敏昭『御館の時代 十二世紀の奥羽・会津・越後』（飯村均氏と共編）、高志書院、2007.
- 柳原敏昭『中世会津の風景』（飯村均氏と共編）、高志書院、2007.
- 柳原敏昭『東北大学百年史 通史編 1』（共著）、東北大学出版会、（「戦前期東北大学の学生運動」「人民戦線事件と大学自治問題」執筆）、2007 .
- 柳原敏昭『東北大学百年史 通史編 3』（共著）、東北大学出版会、（「帝国大学時代の『生協』 医学部自治会と法文共済部」執筆）、2010.
- 柳原敏昭『中世日本の周縁と東アジア』（単著）、吉川弘文館、346p、2011.
- 安達宏昭『年報・日本現代史 第 12 号 現代歴史学とナショナリズム』（共編）（「年報日本現代史」編集委員会編）現代史料出版、2007.
- 安達宏昭『年報・日本現代史 第 13 号 戦後体制の形成』（共編）（「年報日本現代史」編集委員会編）現代史料出版、2008.
- 安達宏昭『日本植民地研究の現状と課題』（共編）（日本植民地研究会編）アテネ

社、2008 .

安達宏昭『東北大学百年史 通史編2』(共著)、東北大学出版会、(「国際交流と産学連携」「キャンパス移転」執筆)、2008.

安達宏昭『仙台市史 通史編7 近代2』(共著)、仙台市、(分担執筆 第11章「戦時体制と仙台空襲」)、2008.

安達宏昭『年報・日本現代史 第14号 高度成長の史的検証』(共編)(「年報日本現代史」編集委員会編)現代史料出版、2009.

安達宏昭『年報・日本現代史 第15号 六〇年安保改定とは何だったのか』(共編)(「年報日本現代史」編集委員会編)現代史料出版、2010.

安達宏昭『仙台市史 通史編8 現代1』(共著)仙台市、(分担執筆 第1章第1節「占領期の仙台市政」、第8章第1節「社会運動」)2011 .

安達宏昭『年報 日本現代史 第16号 検証 アジア・太平洋戦争』(共編)(「年報日本現代史」編集委員会)、現代史料出版、2011 .

1 - 3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

(1) 研究ノート

今泉隆雄「都市空間の成立とゴミ問題の発生 - 松井氏へのコメント -」、『東北文化研究室紀要』第49集、pp.26-27、2008.

大藤 修「無苗字・片苗字・諸苗字 仙台藩の書札礼」、『日本歴史』第704号、日本歴史学会、pp.108-109、2007.

柳原敏昭「『寺塔已下注文』の新解釈について」、人間田宣夫編『平泉・衣川と京・福原』、pp.192-198、高志書院、2007.

柳原敏昭「滝川事件を語り伝える一枚のピラ 東北大学史料館所蔵『大学自由擁護連盟を提唱す』」、『東北大学百年史編纂室ニュース』13、pp.4-7、2008 .

柳原敏昭「奥羽古代・中世交易史 西と南を視野に入れて」、『季刊 東北学』16、pp.45-51、2008 .

柳原敏昭「曽我文書の軍忠状写と安藤家季の花押」、2007年度~09年度科学研究費補助金・基盤研究B(研究代表者 斉藤利男)『南部光徹氏所蔵「遠野南部家文書」の調査・研究』研究成果報告書、pp.2131-132,2010

柳原敏昭「境界への逃亡」、竹田和夫編『古代中世の境界意識と文化交流』、勉誠社、pp.265-268、2011 .

(2) 書評

大藤 修「瀬谷義彦『水戸藩郷土制度の研究』」、『常総の歴史』第36号、pp.98-102、2007.

大藤 修「2008年の歴史学界—回顧と展望— 日本近世」(共著)、『史学雑誌』第118編第5号、pp.105 - 107(「日本近世総論」執筆)、pp.107 - 109(「中世・近世移行期」執筆)、2009.

柳原敏昭「2008年の歴史学界—回顧と展望— 日本(中世) 1 総論」、『史学雑誌』118-5、pp 73-76、2009.

(3) 辞典項目

大藤 修「家」「一夫一婦制」「一夫多妻」「隠居・隠居分」「人身売買」「長子相続」「宮座」、『日本女性史大辞典』、吉川弘文館、2007.

(4) 解説

柳原敏昭「奥羽史料調査部」、東北大学創立100周年記念展示図録『東北大学の至宝—史料が語る世紀—』、東北大学、pp33-40、2008.

柳原敏昭「奥羽史料調査部—地域史研究の先駆—」、『東北大学の至宝』東北大学出版会、pp47-60、2008.

柳原敏昭「『東北中世史の旅立ち』を告げる資料群」、『東北大学史料館だより』14、pp.2-4、2011.

(5) 報告書

大藤 修「アーカイブズ・システムの整備とアーキビスト養成教育の必要性」、『大学院GP—歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画—2008年度報告書』、2009年

大藤 修「アーカイブズ・システムの整備とアーキビスト養成教育の必要性」、『平成20年度大学院教育改革支援プログラム「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」事業報告書』、pp2-18、2010.

大藤 修『東北大学附属図書館所蔵—宮城県桃生郡河南町斎藤養之助家史料目録—2006～2009年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書』、pp3331、2010.

大藤 修「芦東山記念館所蔵史料目録」、『東北大学大学院文学研究科東北文化研

究室紀要』第 52 集、2010.3

大藤 修「一関市大東町芦東山記念館における学生実地指導について」、『平成 21 年度大学院教育改革支援プログラム「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」事業報告書』、pp28-30、2011

大藤 修「大学院 GP 平成 21 年度日本史専攻分野の活動」、『平成 21 年度大学院教育改革支援プログラム「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」事業報告書』、pp8-10、2011

大藤 修「歴史科学専攻における大学院 GP の取組 日本史専攻分野」、『平成 22 年度大学院教育改革支援プログラム「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」事業報告書』、pp18-20、2011

大藤 修「歴史科学専攻における大学院 GP の取組 日本史専攻分野」、『平成 22 年度大学院教育改革支援プログラム「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」事業報告書』、pp18-20、2011

大藤 修「歴史資源アーカイブ構築に関する取組の総括 日本史専攻分野」、『平成 20～22 年度大学院教育改革支援プログラム「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」事業報告書』、pp7-9、2011

柳原敏昭「東北大学史料館所蔵『大島正隆文書』」（共著）、『国史談話会雑誌』51、2010.

安達宏昭『「大東亜共栄圏」政策に関する基礎的研究』、2007～2008 年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）研究成果報告書、2008 年度。

堀裕『大阪樟蔭女子大学天神祭調査報告書 天神祭と女性』（共編・共著）大阪樟蔭女子大学学芸学部日本文化史学科・大阪樟蔭女子大学地域文化センター、2007

堀裕「璉城寺（紀寺）総合学術調査 2」（共著）、『大阪樟蔭女子大学（学芸学部）論集』第 46 号、211-218、2009

（6）その他

大藤 修「ポスト・百年史編纂」、『東北大学百年史編纂室ニュース』第 13 号、pp.2-3、2008

大藤 修「アーカイブズ・システム整備の必要性」、『東北大学史料館だより』第 9 号、pp.2-3、2008 .

大藤 修「今日、二宮尊徳を取り上げるならば」、横浜教科書研究会編『自由社版

- 『新しい歴史教科書』でどう教えるか』第1号、pp16-17、2010.4
- 大藤 修「イールズ闘争の今日的意義—イールズの大学管理法案と国立大学法人化」、『蒼空に梢つらねて イールズ闘争60周年・安保闘争50周年の年に北大の自由・自治の歴史を考える』、「北大5・16集会報告集」編集委員会編、柏艚社、pp.344 - 347、2011
- 柳原敏昭 宮城歴史科学研究会創立30周年記念大会報告要旨「仙台城」、『宮城歴史科学研究』63・64合併号、pp.11-14、2009.
- 柳原敏昭 コラム「中世日本の南と北」、『沖縄県史』各論編3 古琉球、沖縄県教育委員会、pp22-23,2010.
- 安達宏昭「自校史教育の意義と基盤 - 二つの大学での経験から - 」『東北大学史料館だより』第10号、pp.2-3、2009 .
- 堀裕「文学の「読み方」はあるか 田辺文学の教材化の試み」（共著）、『大阪樟蔭女子大学（学芸学部）論集』第46号、pp.219-230、2009
- 堀裕「藤原氏の陵墓 葬法と寺院と」、『歴史のなかの天皇陵』、高木博志・山田邦和編、思文閣出版、pp120 - 121、2010

1 - 4 口頭発表

(1) 国際学会

- 大藤 修「日本近世の生死と葬送・墓制」、単独、シンガポール国立大学主催「近世日本における『死』と『終焉』ワークショップ」、シンガポール国立大学、2009年9月25日。
- 堀裕「古代天皇の喪葬と規範意識—仏教行事を中心に—」、単独、国際東方学会シンポジウム、日本教育会館/東京都、2006年5月19日

(2) 国内学会

- 大藤 修「1950年イールズ事件をめぐって」、単独、日本科学者会議総合学術会議分科会「大学自治の現在を考える—『東北大学百年史』を素材として—」、KKRホテル仙台、2010年11月21日
- 柳原敏昭「滝川事件と東北帝国大学」、宮城歴史科学研究会大会、仙台市、2007年9月15日。
- 柳原敏昭「中世日本国周縁部の正統観念」、地中海学会シンポジウム「フロンティア—周縁か中心か」、東北大学、2010年6月20日。

柳原敏昭「1938年の『大学自治問題』」、単独、日本科学者会議総合学術会議分科会「大学自治の現在を考える－『東北大学百年史』を素材として－」、KKRホテル仙台、2010年11月21日

柳原敏昭「大島正隆探訪『織田家御内書 十四通』」、秋田家史料の『新出』文書紹介」、東北史学会、仙台市、2011年10月2日発表予定。

安達宏昭「大学における『歴史学』教育の意義と方法－概説科目（教職教科専門科目）に着目して－」、単独、宮城歴史科学研究会大会、仙台市、2008年9月27日。

安達宏昭「錯綜する『大東亜経済建設』構想」、単独、日本植民地研究会全国研究大会共通論題報告『「大東亜共栄圏」構想の矛盾と破綻－広域圏問題の視点から』、立教大学/東京都。2011年7月3日

堀裕「平安期の御願寺と天皇」、史学研究会例会、京都大学文学部/京都市、2007年4月21日

堀裕「空海の歴史的な位置付けについて」、続日本紀研究会、アウィーナ大阪/大阪市、2007年6月1日

堀裕「宮と寺－東大寺大仏供起源考－」、日本史研究会古代史中世史合同部会、機関紙会館/京都市、2008年9月9日

堀裕「祥瑞・讖からみた天皇とその周辺」、東北中世史サマーシンポジウム、仙台市震災復興記念館、2010年8月29日

(3) 研究会

今泉隆雄「都市空間の成立とゴミ問題の発生－松井氏へのコメント－」、東北大学文学研究科東北文化研究室公開シンポジウム「ゴミの文化学－過去と現在」でのコメント、東北大学マルチメディアホール、2007年12月15日。

今泉隆雄「郡山遺跡から多賀城へ」、第34回古代城柵官衙検討会の研究報告、東北福祉大学、2008年2月15・16日

今泉隆雄「タンロン王宮遺跡出土の文字磚について」、科学研究費「GISを用いた東アジア都市・王城遺跡形成史の比較研究」の研究会の研究報告、三重大学、2008年6月1日

大藤 修「秋田藩佐竹家子女の人生儀礼と名前 徳川將軍家と比較して－」、単独、第46回近世史サマーセミナー、かんぼの宿松島/松島町、2007年7月14日。

柳原敏昭「中世前期坊津像の形成と普及」、鹿児島地域史研究会、鹿児島市、2009

年 3 月 14 日。

柳原敏昭「『国際貿易港 = 坊津』像の形成」、東北中世史研究会サマーセミナー、
福島県喜多方市、2009 年 8 月 1 日。

柳原敏昭「遠野南部家の系図編纂」、東北中世史・近世史研究会合同特別例会「南
部家文書の世界」、2010 年 7 月 18 日。

柳原敏昭「大島正隆と森嘉兵衛 戦前・戦中期東北地方の研究者間交流」、東北学
院大学中世史研究会大会講演、2011 年 7 月 16 日。

柳原敏昭「柳田國男に師事した東北帝大生 大島正隆の民俗学と歴史学」、東北大
学大学院文学研究科東北文化研究室公開講演会 柳田國男五十年祭記念シンポジ
ウム「柳田國男と東北大学」報告、東北大学、2011 年 11 月 19 日発表予定

安達宏昭「『決戦体制』下の『大東亜建設審議会』」、仙台近現代史研究会（東
北学院大学アジア流域文化研究所共催）第 2 回セミナー、仙台市、2008 年 9
月 20 日。

安達宏昭「戦時期国土計画と東北地方 - 仙塩開発を事例に - 」、仙台近現代史研究
会、第 3 回セミナー、東松島市、2009 年 9 月 13 日。

堀裕「平安期の御願寺と天皇」、平安・寺院史研究会、名古屋市立大学/名古屋市、
2007 年 9 月 22 日

堀裕「「化他」の時代—九世紀前半の仏教政策—」、古代学協会・仁明朝研究会、
同志社女子大学/京都市、2009 年 3 月 29 日

風間亜紀子「律令制下の大寺」、古代史サマーセミナー、三重県鳥羽市、2010 年 8
月 20 日。

2 教員の受賞歴（2007～2011 年度）

なし

教員による競争的資金獲得（2007～2011 年度）

（1）科学研究費補助金

平成 17～20 年度 基盤研究（B）：今泉隆雄（研究分担者）「地理情報システムを
用いた古代宮都の環境復原と環境史の研究 - とくに飛鳥・平城京を中心とし
て -」（研究代表者：林部均）15,000,000 円（4 年総額）

平成 17～19 年度 基盤研究（B）：今泉隆雄（研究分担者）「地理情報システムを用
いた古代宮都の環境復原と環境史の研究 - とくに飛鳥・藤原京を中心として

- 」(研究代表:林部均) 15,000,000円(3年総額)
- 平成18~21年度 基盤研究(B) 大藤修(研究代表者)「近代巨大地主家(宮城県河南町齋藤家)文書の整理とアーカイブズ学的研究」16,000,000円(4年総額)
- 平成18~20年度 基盤研究(B) :柳原敏昭(研究分担者)「中近世移行期における鉱山開発と地域社会の変容に関する研究」(研究代表:池享一橋大学教授)60,000(平成21年度委任経理金)
- 平成19~21年度 基盤研究(B) :柳原敏昭(研究分担者)「南部光徹氏所蔵「遠野南部家文書」の調査・研究」(研究代表:斉藤利男弘前大学教授)50,000(平成21年度委任経理金)
- 平成19~21年度 基盤研究(C):今泉隆雄(研究代表者)「日本古代の国家・社会と時刻制」1,600,000円(平成19年度)、1,040,000円(平成20年度)1,040,000円(平成21年度)
- 平成19~21年度 基盤研究(C):堀裕(研究代表者)「日本古代における天皇権威の形成・変容と東アジア世界」2,600,000(3年総額)
- 平成19~23年度 基盤研究(A)今泉隆雄(研究分担者)「GISを用いた東アジア都市・王城遺跡形成史の比較研究」(研究代表者:山中章)13,400,000円(平成19年度分)
- 平成19~20年度 基盤研究(C):安達宏昭(研究代表者)「『大東亜共栄圏』政策に関する基礎的研究」1,200,000円(平成19~20年度)
- 平成20~23年度 基盤研究(A):柳原敏昭(研究分担者)「東北地域及び東アジア諸国における前近代文書等の形態・料紙に関する基礎的研究」(研究代表:山本隆志)340,000(平成22年度委任経理金)
- 平成21~23年度 基盤研究(A):柳原敏昭(研究分担者)「協同利用環境下での中世文書の網羅的収集による古文書学の再構築」(研究代表:近藤成一)350,000(平成22年度委任経理金)
- 平成21~23年度 基盤研究(C):安達宏昭(研究代表者)「戦時期日本における広域経済圏構想に関する研究」1,800,000(平成21~23年度分)
- 平成22~24年度 基盤研究(C):大藤修(研究代表者)「仙台藩儒学者芦東山関係史料の調査・整理と研究基盤の形成」2700,000(3年総額)
- 平成22~24年度 基盤研究(C):柳原敏昭(研究代表者)「日本中世の『外国人居留地』に関する比較史的研究」1300,000(平成22年度)

平成 23～25 年度 基盤研究 (C) : 堀裕 (研究代表者) 「日本古代の予言 (識) と皇位継承」 2,080,000 (3 年総額)

(2) その他

平成 15～19 年度 21 世紀 COE プログラム: 大藤修 (事業推進担当者) 「社会階層と不平等研究教育拠点の形成」

平成 15～19 年度 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業・オープンリサーチセンター整備事業: 柳原敏昭 (研究分担者) 「アジア流域文化論研究プロジェクト」 (研究代表: 細谷良夫東北学院大学文学部教授)

平成 20 年度文学研究科長裁量経費: 大藤 修 (研究代表者) 比較家族史学会第 50 回記念大会シンポジウム「格差社会と家族」の開催

平成 20～24 年度グローバル COE プログラム: 大藤 修 (事業推進担当者) 「社会階層と不平等研究教育拠点の世界的展開」

平成 20～22 年度大学院教育改革支援プログラム: 大藤 修 (取組実施担当者) 「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」

教員による社会貢献 (2007～2011 年度)

(1) 政府・地方公共団体関係機関などの委員

大藤 修

福島県原町市史編さん専門委員会委員・近世部会長 1998 年 4 月～2007 年 3 月

仙台市博物館協議会委員 2001 年 4 月～現在

一関市芦東山記念館運営委員, 2007 年 5 月～2011 年 3 月

NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク理事, 2007 年 4 月～現在

一関市芦東山記念館館長 2011 年 4 月～現在

柳原敏昭

青森県史編さん専門委員 2000 年度～現在

NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク副理事長 2007 年 4 月～現在

八戸市史編集委員会 原始・古代・中世部会 調査研究員 2008 年 4 月～現在

伊達市宮脇遺跡調査指導委員会委員 2008 年 7 月～現在

安達宏昭

仙台市史編さん調査分析委員 2003 年 9 月～現在

岩沼市史編集専門委員会委員 2009年4月～現在

NPO法人・宮城歴史資料保全ネットワーク 理事 2007年4月～現在

堀 裕

NPO法人・おまけ文化の会理事 2002年2月～2010年6月

NPO法人・宮城歴史資料保全ネットワーク理事 2010年5月～現在

(2) 公開講座等の講師

今泉隆雄

今泉隆雄「陸奥国南部の古代史」 第42回全国史跡整備市町村協議会講演、
福島県南相馬市、2007年10月17日。

今泉隆雄「郡山遺跡とその時代」 仙台市太白区中央市民センター主催「太白
歴史塾 郡山遺跡を学ぶ」 仙台市太白市民センター、2008年7月2日

今泉隆雄「古代の陸奥国と安積郡」 平成20年度第1回郡山市文化財企画展
記念講演会、郡山市民文化センター、2008年7月20日

今泉隆雄「律令国家と蝦夷」 仙台市地底の森ミュージアム特別企画展「陸奥
国大戦争時代 - 蝦夷と移民 - 」記念講演会、仙台市富沢市民センター、2008
年8月30日

今泉隆雄「古代の陸奥国と磐城郡」 いわきヒューマンカレッジ(市民大学)、
いわき市生涯学習プラザ、2009年9月4日

大藤 修

東北大学大学院文学研究科・宮城県岩出山町共催「有備館講座」、「墓の語る
近世」、2007年8月18日、岩出山町スコレハウス

東北史学会公開講演会、「東北大学イールズ事件検証」、2007年9月29日仙
台市博物館

米沢史学会公開講演会、「姓・苗字・名前に探る日本の歴史」、2007年11月
24日、米沢女子短期大学

大崎八幡宮主催「江戸・仙台学」、「仙台藩の学問と教育 江戸時代における
仙台の学都化」、2008年6月2日、大崎八幡宮

仙台遊学館講座 「二宮尊徳とは」、2009年12月3日、仙台メディアテーク
一関市芦東山記念館開館3周年記念講演会、「江戸時代の文化・学問環境と
芦東山」、2010年10月24日、一関市芦東山記念館

宮城県大和町教育委員会主催「まほろば大学郷土史講座」、「姓・苗字・名前に

探る日本の歴史 身近な事象から歴史を考える」、2011年7月30日、大和町まほろばホール

東北大学大学院文学研究科・宮城県岩出山町共催「有備館講座」、「江戸時代の家と村における男と女」、2011年8月20日、岩出山町スコレハウス

柳原敏昭

国史談話会大会公開講演「森鷗外と東北大学」、東北大学、2007年6月9日
東北大学百周年記念展示「東北大学の至宝」フロアレクチャー、江戸東京博物館、2007年9月22日

東北大学百周年記念展示「東北大学の至宝」ミュージアムトーク、仙台市博物館、2007年11月17日

東北大学文学研究科有備館講座「太田正雄東北帝大医学部教授（木下空太郎）と学生たち」、大崎市岩出山町スコレハウス、2007年12月15日

新潟県立高田高等学校高大連携・大学模擬講義「地名から探る日本 アジア交流史」、2007年12月25日、新潟県立高田高等学校

東北大学文学研究科斎理屋敷講座「川から読む中世」、2008年11月1日、宮城県丸森町

新潟県高等学校教育研究会地歴公民部会総会講演「地域史の可能性」、2009年7月3日、新潟市

大崎市郷土歴史講演会「中世日本、北と南の正統観念」、2010年5月29日、大崎市古川中央公民館

根城おもしろ講座「源氏南部八戸家系の成り立ち」、2010年6月6日、八戸市史跡根城の広場

出前授業「東北大学文学部ガイダンス」「東北大学文学部の特徴と入試」、秋田県立秋田高校 秋田市、2011年6月8日

安達宏昭

東北大学大学院文学研究科・宮城県岩出山町共催「有備館講座」、「デジタルアーカイブで読む戦前の日本」、2008年7月19日、大崎市岩出山町スコレハウス

みやぎ県民大学・東北大学大学院文学研究科開放講座『デジタル・アーカイブと史料分析 - 日本近現代史を中心に - 』講演、2009年9月16日、東北大学

堀 裕

大阪樟蔭女子大学地域文化センター・日本文化史学科主催 第9回高校生の

ための歴史・考古学講座「奈良町と東大寺で触れる奈良の歴史文化」、2007年2月18日、東大寺・錦光園など

大阪樟蔭女子大学公開講座「大阪の天神祭と女性—4年間の調査成果をもとに—」、「天神祭と女性の100年」、2007年5月26日、大阪樟蔭女子大学OAP天神祭展実行委員会主催「天神セミナー」、「天神祭と女性」、2007年7月22日、OAPタワー24階会議室

教職員自主研修支援大学等オープン講座、「ある日の藤原道長—暮らしと政治—」、2007年8月7日、大阪樟蔭女子大学

大阪樟蔭女子大学地域文化センター等主催 夏休み公開講座 樟蔭夏休み子ども体験教室・歴史大好き教室・テーマ河内木綿、2007年8月19日、樟蔭中学・高等学校

大阪樟蔭女子大学地域文化センター・日本文化史学科・国文学科歴史文化専攻主催 第10回高校生のための歴史・考古学講座、「流れゆく河内—水が育んだ河内木綿と古墳—」、2008年1月13日、八尾市立歴史民俗資料館・心合寺山古墳など

東大阪市社会教育センター主催「市民講座」、「古代天皇を考える歴史学—河内との関係を視野に—」全3回、2008年2月22日・29日・3月28日、東大阪市社会教育センター

第20回大阪樟蔭女子大学国文学科公開講座「大阪文化探訪」、「天皇と大王の墓とモガリ」・「摂津の都と河内の祭祀」、2008年6月14日・28日、大阪樟蔭女子大学

大阪樟蔭女子大学地域文化センター等主催 夏休み公開講座 樟蔭夏休み子ども体験教室・歴史大好き教室・テーマ藍染め、2008年8月30日、樟蔭高等学校

大阪樟蔭女子大学主催「謎の古代寺院・平城京璉瑠寺(紀寺)を考える」、「奈良・平安期の璉瑠寺と紀寺」、2008年11月8日、大阪樟蔭女子大学

大東市立生涯学習センターアクロス主催 平成20年度「だいとう塾」、「古代の祥瑞思想と讃良郡 - 白山鶏と龍—」、2008年11月10日、大東市立生涯学習センターアクロス

大阪樟蔭女子大学地域文化センター主催 2008年度大阪樟蔭女子大学体験歴史講座、「EAST 大阪河内再発見—東大阪・街の博物館・文学館めぐり—」、田辺聖子文学館、司馬遼太郎記念館、2009年1月25日、大阪商業大学商業

史博物館

大阪樟蔭女子大学地域文化センター等主催 夏休み公開講座 樟蔭夏休み子ども体験教室・歴史大好き教室「豆腐作りを体験しよう！—大豆について学ぶ—」、2009年8月23日、樟蔭高等学校

はびきの市民大学主催 はびきの市民大学 平成21年度後期講座「奈良時代を学ぶ—平城京を中心に—」、「東アジアの中の女性の天皇」、2009年11月22日、LIC はびきの(羽曳野市立生活文化情報センター)

大阪樟蔭女子大学地域文化センター主催、「枚岡・石切まち歩きイベント—歴史と自然を感じる平岡・石切を歩いてみませんか—」、2010年2月7日、枚岡神社・夫婦塚古墳・石切劔矢神社など

(3) ボランティア活動

大藤修・柳原敏昭・安達宏昭・堀裕

宮城歴史資料保全ネットワークの史料保全活動：

宮城歴史資料保全ネットワークの1員として、2003年7月に発生した宮城県北部地震で被災した歴史資料の救出活動と、将来の発生が予想される宮城県沖地震に備えての地域伝来史料の所在調査を実施。

東日本大震災に際し、史料レスキューと塩分やカビ除去作業を実施。

大藤 修

芦東山記念館所蔵史料の整理と目録作成 2009年7月29日～31日、2010年3月17日～19日

大藤 修 一関市大東町渋民芦和郎氏宅所蔵史料の整理と目録作成 2010年8月25日～27日

大藤 修 一関市大東町渋民芦全氏所蔵史料の整理と目録作成 2011年4月27日、7月4日、9月16日～18日

教員による学会役員等の引き受け状況(2007～2011年度)

今泉隆雄

東北史学会副会長 2006年10月～2007年10月

国史談話会会長 1997年4月～現在

日本歴史学会評議員 2001年7月～現在

木簡学会委員 1998年12月～2004年11月,同監事 2004年12月～現在

条里制・古代都市研究会評議員 2003年3月～現在

東北史学会会長 2007年10月～2009年10月

大藤 修

比較家族史学会 理事 1995年6月～2011年6月
東北史学会 評議員 1995年10月～現在
東北史学会 理事 1997年10月～2005年10月
東北近世史研究会 会長 1995年4月～現在
史学会 評議員 1999年10月～現在
国史談話会 委員 2006年6月～2010年3月
国史談話会会長 2010年4月～現在
東北史学会副会長 2009年10月～現在
東北史学会会長 2011年10月～

柳原敏昭

宮城歴史科学研究会委員 1997年9月～現在
東北大学国史談話会役員 1998年6月～現在
東北史学会評議員 1998年10月～現在
東北史学会理事 2003年10月～現在
史学会評議員 2005年11月～現在
日本古文書学会評議員 2011年10月～

安達宏昭

国史談話会委員 2004年6月～現在
東北史学会評議員 2003年10月～現在、
東北史学会理事 2005年10月～現在
日本植民地研究会運営委員（編集長）2005年6月～2007年5月
日本植民地研究会運営委員（編集委員）2007年6月～現在
宮城歴史科学研究会委員 2005年9月～現在
「年報日本現代史」編集委員会委員 2004年5月～現在
同時代史学会理事、2007年1月～現在
同時代史学会編集委員会副委員長、2008年1月～2009年12月
同時代史学会編集委員会委員長、2010年1月～現在

堀 裕

国史談話会 委員 2010年6月～現在

木簡学会多賀城特別研究集会実行委員 2010年5月～2010年9月

宮城歴史科学研究会委員 2010年9月～現在

風間亜紀子

木簡学会多賀城特別研究集会運営委員 2009年9月1日～2010年9月

教員の教育活動

(1) 学内授業担当(2011年度)

1 大学院授業担当

大藤 修 教授

1学期	日本近世・近代史研究演習	近世の身分格式と文書様式(1)
2学期	日本近世・近代史研究演習	近世の身分格式と文書様式(2)
1学期	日本近世・近代史研究演習	近世史研究実践
2学期	日本近世・近代史研究演習	近世史研究実践
1学期	日本近世・近代史特論	近世に生きた人々(1)
2学期	日本近世・近代史特論	近世に生きた人々(2)
2学期	史料学	近世古文書学
1学期	史料管理学	史料保存の意義と調査・整理・保存管理法
2学期	史料管理学	史料整理実習
通年	課題研究	

柳原敏昭 教授

1学期	日本古代・中世史研究演習	中世政治・社会史の研究(1)
2学期	日本古代・中世史研究演習	中世政治・社会史の研究(2)
1学期	日本古代・中世史研究演習	中世史料演習(1)
2学期	日本古代・中世史研究演習	中世史料演習(2)
1学期	日本古代・中世史特論	日本中世史研究法
2学期	日本古代・中世史特論	中世史料とそれをめぐる人々
1学期	史料学	中世古文書演習
通年	課題研究	

安達宏昭 准教授

1学期	日本近世・近代史特論	近現代日本とアジア
2学期	日本近世・近代史特論	日本近現代史研究の諸相
1学期	日本近世・近代史演習	近現代史研究法(1)

2 学期 日本近世・近代史演習 近現代史研究法 (2)

通年 課題研究

堀 裕 准教授

1 学期 日本古代・中世史研究演習 古記録の研究 (1)

2 学期 日本古代・中世史研究演習 古記録の研究 (2)

1 学期 日本古代・中世史研究演習 古代史料研究 (1)

2 学期 日本古代・中世史研究演習 古代史料研究 (2)

坂上康俊 講師 (非常勤講師・九州大学)

集中講義 日本古代・中世史特論 日唐令比較研究の方法と実践

2 学部授業担当

大藤 修 教授

5 セメスター 日本史演習 近世の身分格式と文書様式 (1)

6 セメスター 日本史演習 近世の身分格式と文書様式 (2)

5 セメスター 日本史演習 近世史研究実践

6 セメスター 日本史演習 近世史研究実践

6 セメスター 古文書学 近世古文書学

5 セメスター 日本史各論 近世に生きた人々 (1)

6 セメスター 日本史各論 近世に生きた人々 (2)

5 セメスター 日本史実習 史料保存の意義と調査・整理・保存管理法

6 セメスター 日本史実習 史料整理実習

柳原敏昭 教授

4 セメスター 日本史基礎購読 中世史料講読

4 セメスター 古文書学 中世古文書読解入門

5 セメスター 日本史演習 中世政治・社会史の研究 (1)

6 セメスター 日本史演習 中世政治・社会史の研究 (2)

5 セメスター 日本史演習 中世史料演習 (1)

6 セメスター 日本史演習 中世史料演習 (2)

5 セメスター 日本史各論 日本中世史研究法

6 セメスター 日本史各論 中世史料とそれをめぐる人々

5 セメスター 日本歴史地理 地名と景観から探る歴史地理 (理学部)

安達宏昭 准教授

- 3 セメスター 日本史各論 近現代日本とアジア
- 4 セメスター 日本史各論 日本近現代史研究の諸相
- 3 セメスター 日本史基礎購読 近現代史料購読
- 5 セメスター 日本史演習 近現代政治社会史の研究(1)
- 6 セメスター 日本史演習 近現代政治社会史の研究(2)
- 7 セメスター 日本史演習 近現代史研究法(1)
- 8 セメスター 日本史演習 近現代史研究法(2)

堀 裕 准教授

- 3 セメスター 日本史概論 歴史のなかの身体
- 4 セメスター 日本史概論 遺跡・遺物から見た日本の歴史
- 4 セメスター 日本史基礎講読 古代史料講読
- 5 セメスター 日本史演習 古記録の研究(1)
- 6 セメスター 日本史演習 古記録の研究(2)
- 5 セメスター 日本史演習 古代史料研究(1)
- 6 セメスター 日本史演習 古代史料研究(2)

坂上康俊 講師(非常勤講師・九州大学)

集中講義 日本史各論 日唐令比較研究の方法と実践

3 共通科目・全学科目授業担当

柳原敏昭 准教授

- 1 セメスター 人文社会総論
- 2 セメスター 総合科目 東北大学の人々

安達宏昭 准教授

- 2 セメスター 総合科目 東北大学の人々

堀 裕 准教授

- 1 セメスター 基礎ゼミ 絵画・地図から歴史を学ぶ
- 1 セメスター 人文社会総論

(2) 他大学への出講(2007~2011年度)

今泉隆雄 教授

通年 宮城女子大学大学院人文科学研究科 2005年度~2008年度
 集中講義 山口大学人文学部 2009年度

大藤 修 教授

テレビ放送用講義 放送大学 2008 年度

柳原敏昭 教授

集中講義 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 2009 年度

集中講義 放送大学宮城学習センター 2011 年度

安達宏昭 准教授

立教大学 2007 年度 2 学期〔1 回担当〕

立教大学 2008 年度 1 学期、2 学期〔1 回担当〕

米沢女子短期大学 2008 年度 2 学期〔1 回担当〕

立教大学 2009 年度 2 学期〔1 回担当〕

立教大学 2010 年度 2 学期〔1 回担当〕

立教大学 2011 年度 2 学期〔1 回担当〕

堀 裕 准教授

通年 奈良大学文学部 2009 年度

前期 奈良大学文学部 2010 年度〔1 回担当〕

後期 東北学院大学・文学部（歴史学科）、2011 年度

風間亜紀子

前期・後期 東北学院大学 2009 年度～2010 年度

前期 宮城教育大学 2009 年度

前期 米沢女子短期大学 2010 年度〔1 回担当〕